

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 462 号	氏名	Alexandre Jean Semé Fils
学位審査委員	主 査	濱野 真二郎	
	副 査	由井 克之	
	副 査	平山 謙二	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は熱帯熱マラリア原虫の 1) ワクチン候補分子 <i>cytoadherence linked asexual gene (clag)</i> の変異におけるフィールドでの選択圧、及び 2) 感染赤血球表面に発現される原虫分子 <i>surface-associated interspersed gene 4.2 (SURFIN_{4.2})</i> の細胞内輸送機構を解明しようとしたものであり、研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 1) <i>clag2, 8, 9</i> の多型領域に関して、1980 年代にタイで分離・株化した熱帯熱マラリア原虫 39 株を用い、同義および非同義置換率の比較などを通して選択圧を検討しており、また 2) 各種組換え SURFIN_{4.2} を発現するマラリア原虫を作成し、ライブイメージングなどを用いて細胞内局在などを解析しており、それら研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、1) <i>clag2</i> と 8 に対する正の選択圧が検出され、両遺伝子がコードする分子が宿主免疫系に認識される標的分子である可能性が示され、2) SURFIN_{4.2} のマラリア原虫から赤血球内への輸送には膜貫通領域が不可欠であり、この輸送は <i>Plasmodium export element (PEXEL)</i> 非依存性であることが示された。上記のように解析・考察ともに適切になされている。</p> <p>以上のように本論文はマラリア研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			